



北方領土返還要求アピール行動 北方領土問題の重要性を伝えるため、元島民や関係者など全国から約500人が東京都心に集結し、早期返還の実現を願う熱い思いを訴えながら街頭を行進しました。(12月1日:東京都中央区)



3世代ふれあいお餅つき会 「根室・室根交流の会」を中心に交流を深めている岩手県室根町から、もち米が寄贈されました。さっそく感謝の気持ちを込め、力いっぱいついた餅は最高のおいしさでした。おいしさに、笑顔がこぼれました。(12月10日:共和小学校)



認知症サポーター養成研修会 認知症を理解して応援するサポーターを育成するための研修会が、市職員に引き続き民生委員を対象に開催され、認知症の症状や支援法などを熱心に学びました。(12月16日:福祉会館)



風蓮湖の魅力を全国に 「風蓮湖」を歌う演歌歌手・山内恵介が、ファンとともに風蓮湖ツアーを行うため市長を訪問し、歌を通して、根室の魅力を発信する架け橋になりたいと熱い思いを語りました。(11月27日:市役所市長室)



図書館では、さまざまな角度から子どもたちに向けた読書普及活動に取り組んでいます。今年度は、児童会館の子どもたちに本の楽しさを知ってもらうため、西浜児童会館から訪問を始めました。

児童会館の子どもたちは、わくわくした表情で迎えてくれました。また、子どもの知的好奇心をくすぐる読書クイズでは、目を輝かせながら積極的に手を挙げて、元気よく答えてくれます。「借りたい」「読みたい」とさまざまな反応を示す姿は、心の豊かさの表れであると感じています。

近年は、テレビゲームやインターネットが急速に普及し、子どもたちの中でも情報の伝達や収集が、とても簡単にできる時代となりました。その反面、子どもの読書離れが全国的な課題となっています。子どもは、本に親しむことで言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにします。当然のことに対して「なぜ?」と疑問を持つたり、注意深く物事を考えて行動する力や、人の痛みを自分の気持ちのように考える想像力の豊かさ・感受性は読書によって培われるものです。

本は心の栄養です。感動や刺激を与え、心を潤し、時には安らぎを与えてくれます。図書館には、心の栄養素となる本がたくさんそろっています。ぜひ、家族で足を運んでみてください。そして、お子さんと読書を通じた心の交流を図りましょう。

「読む楽しさ」を子どもたちに体験してもらうため、図書館はより一層の子ども読書普及活動を行います。

図書館司書 神内 舞衣子



図書館

静かな憩いのときを

あなたの図書館で
TEL(23)5974番